

後期学校評価アンケート結果

令和 2 年度
京都市立京都京北小中学校
校長 新井 保

春寒の候、平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。さて、本校教育活動をより充実するために、今年度 2 回目の学校評価アンケートを実施しましたのでお知らせいたします。お忙しい中、保護者の皆様には、ご協力いただき誠にありがとうございました。

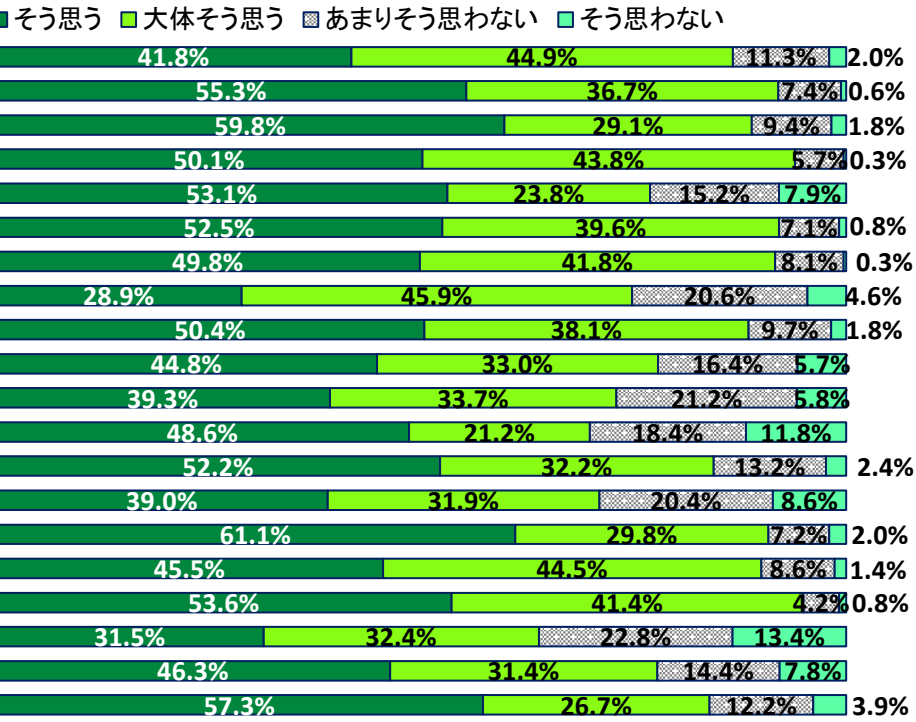
○学校教育目標

ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、誇りに思い、
自らの志を高め、未来に向けて大いに学び育つ子どもの育成
～言語能力と地域創生力を伸ばす～

○めざす生徒像

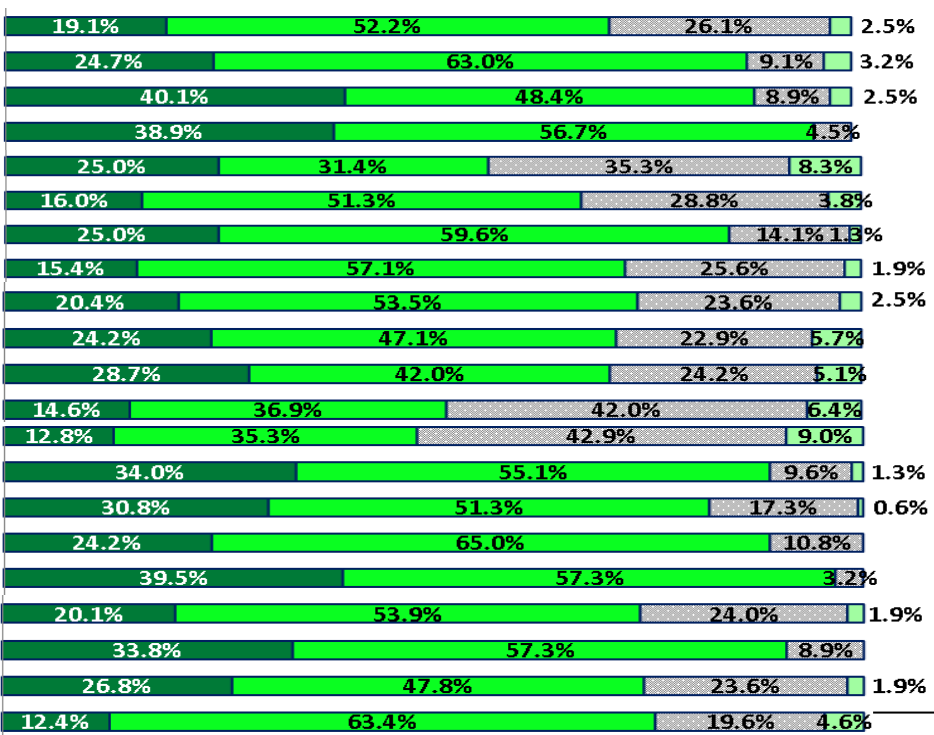
知：9 年間の連続した学びに支えられた確かな知識を活用し、探究心を持って問題解決に向けて主体的に取り組む事が出来る生徒。
心：ふるさと京北を愛し、豊かな人間性・市民性・自尊感情を有し、周りの人との関係やコミュニケーションを大切に出来る生徒。
体：自らの心身の健康を育む意欲を持ち、安全や体力の向上に対し、生涯に渡ってそれを実践することが出来る生徒。

生徒



保護者

※生徒と保護者の方への質問は同項目ですが、保護者の方には各ご家庭の子どもについてお訪ねする内容となっています。違う内容については、項目を添付しています。



14.学校・担任は、保護者の相談に丁寧に対応していますか。

21.学校は、義務教育学校として、小中のスムーズな移行ができるように工夫して取り組んでいますか。

学校の結果からの考察

- ・前期アンケートと同様に 9 割近くの生徒及び保護者が項目 3 の「学校は楽しいですか」では、「楽しい」と回答していることから、多くの生徒が楽しく学校生活を送っていると考えられます。生徒が学校を楽しんでいる理由はいくつかありますが、多くを占めるのは、友だちと楽しく過ごしている時だと考えられます。前期に比べ、行事などを通して友だちと楽しく過ごせた結果だと考えます。しかし、そのように感じていない生徒がいることを深く受け止め、すべての生徒が楽しいと感じられるよう、授業や学校行事の中で、生徒一人ひとりが活躍する場面を作り、達成感や充実感を得て、「楽しい」と感じられるようにしていきたいと思います。
- ・項目 5 「外遊び、スポーツなどでよく体を動かしていますか」では、約 2 3 % の生徒と約 4 4 % の保護者が「あまり思わない」「そう思わない」と回答し、課題を感じています。考えられる理由としては、コロナ禍の中、多くの活動に制限がかかり十分に体を動かす時間が少ないことが考えられます。来年度もコロナ禍で厳しい状況が続くことが予想されますが、少しでも多く体を動かせる時間を確保し、生徒の健やかな体づくりを目指し、取り組んでいきたいと考えています。
- ・項目 6 「授業はわかりやすいですか」では、9 割以上の生徒が「そう思う」「大体そう思う」と回答している一方、約 1 割の生徒が「あまり分からない」「分からない」と回答していることや、保護者においても約 3 割の方が「あまり理解できていない」「理解できていない」と回答しておられます。このことを、学校として真摯に受け止め、すべての生徒が「分かった」「できた」と実感できるような授業づくり、主体的に活動し自ら考える授業の展開を工夫していきたいと思います。さらに「学力向上」に取り組めるよう、ご家庭でも家庭学習の時間を確保して頂き、学校と家庭が協力して子どもたちに力をつけていきたいと思います。
- ・項目 1 2 「K ノートをしっかり活用し、自分のスケジュール管理ができていますか」では、「あまりできていない」「できていない」と回答している生徒が前回より増えたことから、特に K ノートを活用しきれしていない生徒が増えていることが見取れました。生徒自身が、見通しをもって生活や学習に取り組めるように、K ノートの活用方法を学校でも見直していきたいと思います。

学校運営協議会より

- ・自主学習や家庭学習の取組に対して、多くの生徒は「できている」と感じているのに対し、多くの保護者が「あまりできていない」と感じていることから、自主学習や家庭学習の捉え方の違いが結果に反映しているように思える。生徒と保護者及び教員の到達点をもう少し具体的に示して共通理解をしていくと、より課題や成果が見えてくるのではないかと。
- ・どの項目に関しても、課題が少数であったとしても解決していくために、学校としてどの様に取り組んでいくのかを、今後は具体的に示してほしい。
- ・生徒や保護者に対してとても丁寧に寄り添って頂き、保護者も学校と一緒に子どもの事を考えることができている。しかし、子どもの困りに寄り添い支援を十分にすることによって、培えない力もあるように思う。学校を卒業し、更に広い社会に出た時に、自分の力で道を切り拓き、力強く生きていくための力を生徒・保護者・教職員・地域が共通理解して取り組んでいけるようにしたい。